

平成26年度 予算概要

「人づくり」への将来投資型予算

「みんなの元気と調和でつくる暮らし満足都市」を市の将来像とし、定住人口の増加、企業の立地維持、産業の振興などの事業を継続します。26年度は教育の振興に力点を置いた「ひとづくり」への将来投資型予算になりました。

平成26年度予算

予算総額	313億7,788万円
(平成25年度)	300億5,014万円
一般会計	196億1,000万円
(平成25年度)	193億4,300万円

*当初予算前年度対比

	平成26年度予算	平成25年度予算
一般会計	196億1,000万円	193億4,300万円
水道事業会計	13億1,682万円	12億8,400万円
特別会計	104億5,106万円	94億2,314万円
合計	313億7,788万円	300億5,014万円

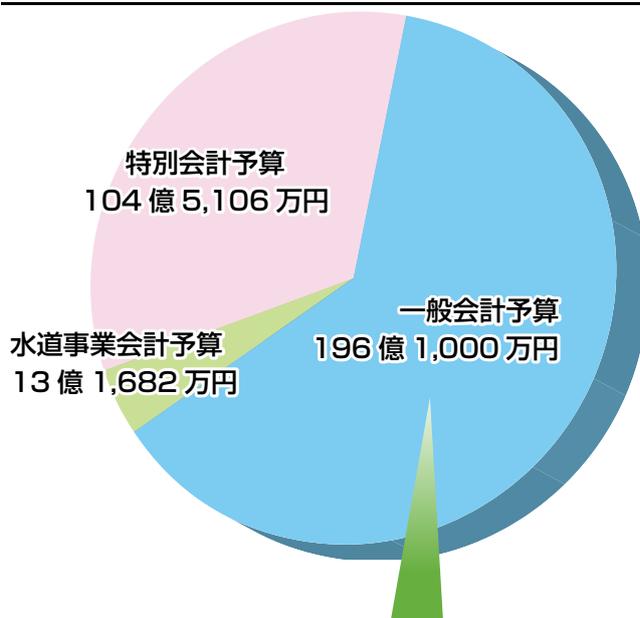
*平成26年度 水道事業会計

	収入	支出
収益的	10億5,403万円	8億553万円
資本的	3,814万円	5億1,129万円

*平成26年度 土地開発公社会計

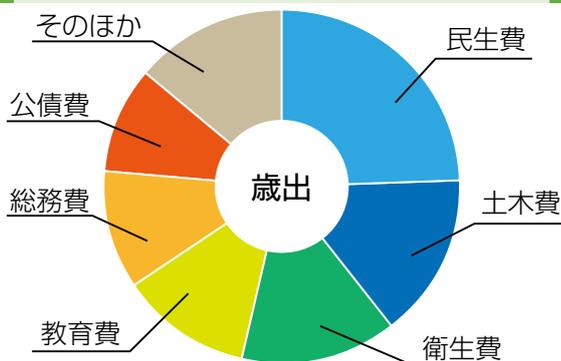
	収入	支出
収益的	7,123万円	7,179万円
資本的	1億3,300万円	2億5,104万円

平成26年度 会計別予算



一般会計予算

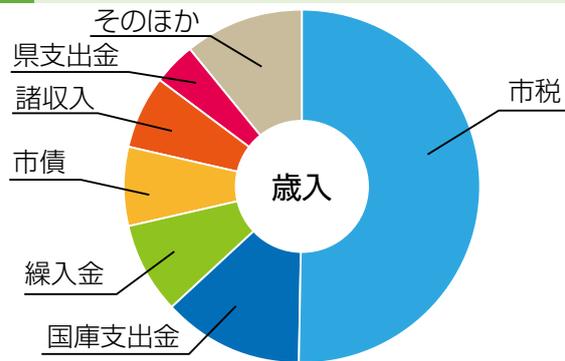
歳出総額 196億1,000万円



歳出

民生費	48億1,150万円	24.5%
土木費	29億3,624万円	15.0%
衛生費	28億1,721万円	14.3%
教育費	23億5,364万円	12.0%
総務費	20億9,667万円	10.7%
公債費	19億1,898万円	9.8%
その他	26億7,576万円	13.7%

歳入総額 196億1,000万円



歳入

市税	98億7,672万円	50.4%
国庫支出金	25億3,005万円	12.9%
繰入金	16億1,606万円	8.2%
市債	14億1,620万円	7.2%
諸収入	13億0,214万円	6.6%
県支出金	7億8,802万円	4.0%
その他	20億8,081万円	10.7%



総合計画に基づく 重要事業の抜粋を紹介します。

市では、総合計画を策定し、目標とする将来都市像「すその・ふれあい・健康文化都市」の実現を目指し、6つの柱に沿った事業を行っています。

- ①だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」
- ②成長するよるこびと地域のつながりでこころの豊かさを育む「すその」
- ③市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」
- ④豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」
- ⑤今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」
- ⑥健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

1. だれもが将来にわたってすこやかに暮らせる健康と福祉の「すその」

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費
母子保健事業費 (不妊治療費助成事業)	不妊治療費の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成する。	10,400
各種がん検診事業	早期発見、早期治療に向けて、成人各種がん検診を実施する。	190,195
予防接種事業	定期予防接種と任意予防接種を実施する。	164,955
新 福祉保健会館 大規模改修調査事業	福祉保健会館の施設状況調査を実施し、改修計画を策定する。	8,000
新 広域救急医療情報 システム等運用負担金	市民が安心して医療を受けられるように、二次救急医療を充実させるため、新たな広域救急医療情報システムなどの運営費用を負担する。	5,811
将 医療・福祉各種 計画策定事業	だれもが住み慣れた地域ですこやかに暮らせるよう、医療・福祉を充実させるために、すその健康増進プラン、高齢者保健福祉計画、地域福祉計画などを策定する。	9,248
新 臨時福祉給付金 関連事業	消費税率の引上げに伴い、給付される臨時福祉給付金の準備事務などを行う。	2,296
高齢者医療費助成事業	高齢者の医療費自己負担の一部を助成する。	27,298
障害者児介護給付事業	在宅での入浴などの介護、外出への支援や、施設での介護・訓練などにかかるサービスを提供する。	309,050
新 難病患者介護家族リフ レッシュ事業補助金	在宅で人工呼吸器を使用している方などを対象に、患者家族の介護負担を軽減するため、訪問看護費用の一部を助成する。	260
将 南小学校放課後 児童室拡張事業	南小学校放課後児童室の入室者が大幅に増加しているため、施設を拡張整備する。(定員/25人⇒40人)	6,883
将 子ども・子育て支 援事業計画策定事業	幼児期の教育・保育・地域の子育て支援について、平成27年度から5年間の事業量の見込み、確保すべき内容、実施時期などを定める事業計画を策定する。	3,600
将 保育所緊急整備 事業費補助金	待機児童解消対策として、平成27年4月開園予定の民間保育所(対象/0歳～2歳児・定員45人)の施設整備に対し助成する。	100,059
こども医療費助成事業	保護者の負担を軽減し小中学生の健やかな成長に寄与するため医療費を助成する。	116,800
乳幼児医療費助成事業	保護者の負担を軽減し乳幼児の健やかな成長に寄与するため医療費を助成する。	128,736

※区分について **新**新規事業、**将**将来投資枠事業

2. 成長するよろこびと地域のつながりでこころの豊かさを育む「すその」 (単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費
教育振興基本計画策定事業	市の教育の方向性を明確に示し、学力向上などの施策を総合的に進めていくため、保護者代表、学識経験者などで構成される委員会を開催し、市教育振興基本計画を策定する。	1,000
東小学校南校舎東側耐震改修事業	児童が安心して快適に学校生活を送ることができるよう、東小学校南校舎東側部分(1,282㎡)の耐震補強・大規模改修工事に向けた実施設計を行う。	8,632
新学校給食センター調理機器設備事業	平成6年度から使用している給食センターの食器洗浄機を更新する。	40,000
非常勤講師派遣事業	TTによる学習支援と児童の生活支援を行う。	130,229
学力向上支援事業	児童生徒の学力の向上のため、少人数指導などきめ細やかな指導に当たる学力向上支援員(講師)を配置する。(小学校3人、中学校1人)	9,420
特別支援員配置事業	児童生徒の学力向上の一環として、落ち着いた学習環境を確保するため特別支援員を配置する。(小学校10人)なお、国の交付金事業は完了するが、他事業の見直しにより財源を捻出し、全額市費で継続実施する。	16,300
外国語教育・海外交流事業	小中学校の英語教育の充実に向け、質の高いALT業者をプロポーザル方式で選定する。	16,000
運動公園ローラー滑り台更新整備事業	安全のため現在利用を停止している大型ローラー滑り台の利用再開に向け、新たに同等規模の大型ローラー滑り台を更新整備する。	70,000

3. 市民と行政が手を携えてつくる安心と活力のある「すその」 (単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費
市民協働推進事業	市民協働を推進するため、市民提案事業と市民パートナー募集事業などの市民協働事業を行う。	3,000
最終処分場(第二期)整備事業	廃棄物処理を円滑に行うため、最終処分場(須山地区)の第二期整備を実施する。(事業期間：H24～H27年度)	621,175
新エネルギー機器等(防災・減災対応型)導入補助金	環境への負荷が少なく災害時には非常用電源としても利用可能な新エネルギー機器(家庭用蓄電池と住宅向け給電機能付き電気自動車等充電器)の購入費に対して助成する。 ・家庭用蓄電池 10万円×10件 ・住宅向け給電機能付き電気自動車等充電器 5万円×20件	2,000
美化センター基本構想策定事業	老朽化した施設の更新整備を検討するため、施設の規模、概算事業費、建設・運営手法などについて基本構想を策定する。	9,000
新裾野市環境基本計画策定事業	市のより良い環境を維持するため、今後の社会動向も踏まえて、市の環境行政の基幹となる基本計画を策定する。(H26～H27で策定)	4,000
新電気自動車充電設備設置事業	環境意識の醸成と公共施設利用者の利便性向上するため、市役所敷地内にPHEV、EVに対応した充電設備を整備する。	3,900
消防団活動支援事業	地震などの大規模災害から住民の生命、身体と財産を守るため、各分団に救助用資機材などを整備する。	8,438
新消防救急無線デジタル化整備事業	消防通信体制の確保・迅速化を図るため、2市1町(裾野市・三島市・長泉町)で共同運用する消防通信指令施設整備に併せて消防救急デジタル無線を整備する。	53,367

4. 豊かな自然と暮らしやすさが調和した「すその」 (単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費
裾野駅バリアフリー化整備事業費補助金	誰もが安心安全に裾野駅を利用するため、駅構内にエレベーターなどを整備しバリアフリー化を図るための実施設計費用に対して助成する。	12,100
裾野市都市計画マスタープラン策定事業	長期的な都市づくりの方針を新たに定めるため、区域区分や用途地域の見直しも視野に入れて、第4次総合計画と整合性の取れた計画を策定する。	8,597
宅地分譲促進事業費補助金	市街化区域内の未利用地の優良宅地化を促進するため、基準を満たした宅地分譲事業に対して助成する。@40万円/区画×50区画	20,000
東西地区(市街化区域)道路整備計画に基づく道路整備事業	東西地区内の市街化の促進、緊急車両の通行路を確保するため、道路整備計画に基づく道路整備を行う。	30,000
市道2-29号線整備事業	通勤時間帯の渋滞緩和のため、国道246号線と県道沼津小山線を結ぶ幹線市道2-29号線の整備を行う。	20,000
市道2-18号線道路整備事業	将来の交通需要と市街地の発展に対応するため、深良地区と裾野駅周辺の市街地を南北に結ぶ幹線道路を整備する。	72,730
都市計画街路平松深良線整備事業(公文名・滝頭工区)	市内の幹線道路を整備するため、平松深良線のうち市民体育館前通りから千福公文名線、佐野茶畑線から駅東通り間を整備する。	142,545
市道1-26号線整備事業	都市計画街路平松深良線整備に伴う通過車両の生活道路への流入を防ぐため、平松深良線(公文名工区)の終点部と市道1-4号線(農免道路)間を整備する。	71,350
新道路ストック総点検事業	国のインフラ長寿命化基本計画に基づき、橋梁、法面、照明灯などを点検し今後の長寿命化計画の基本資料とする。	25,000
公共交通空白地域移動確保対策モデル事業	公共交通(バス)空白地域から裾野駅周辺への移動手段を確保するため、地域と行政の協働により、新たな仕組みによる自主運行路線の運行を葛山地区でモデル的に実施する。	1,200

※区分について 新新規事業、将来投資事業

5. 今ある魅力と資源を再発見し、未来へつなげる「すその」

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費
〔将〕企業立地促進金	企業の誘致や立地維持のため、事業用地取得や設備投資などにかかる経費に対して助成する。	81,000
〔将〕中小企業支援金	経営革新、技術開発などに取り組む中小企業者や起業を支援するため、利子補給や補助金により助成する。(経営革新計画承認事業経費、展示会出展経費などが対象)	3,050
〔将〕住宅建設等促進金	定住人口の増加や地域経済の振興のため、住宅の新築などに対する助成事業。新築50万円×25戸、耐震補強・リフォーム20万円×55戸。	25,000
〔将〕中小企業相談・支援事業	起業や事業拡大を検討している中小企業など(農林業者などを含む)を支援するため、実績のある相談・支援専門機関と連携して相談会などを実施する。	1,000
〔新〕鳥獣被害防止緊急捕獲対策事業補助金	平成24年度に策定した鳥獣被害防止計画を推進するため、捕獲1頭につき市費3,000円の上乗せと、捕獲用の箱ワナの購入を補助する。	1,420
〔将〕薬草試験栽培補助金	耕作放棄地の解消と富士芝に代わる特産物を検討するため、県などと連携して、薬草試験栽培を行う地元農業団体に対して費用の一部を助成する。	500
〔将〕地域農業担い手支援事業費補助金	将来の農業の担い手を確保するため、農業用機械・施設導入費用や販路拡大のための展示会出展費用などに助成する。	1,800
シティプロモーション推進事業	交流人口の拡大、まちのにぎわいづくり創出を目的として、多様な地域資源や市の魅力を積極的に情報発信し、当市の知名度アップを図るため、情報誌の作成などを行う。	2,000
〔新〕「(仮称)富士山世界遺産登録1周年記念イベント」開催負担金	富士山の世界遺産登録1周年を記念し、富士山樹空の森(御殿場市)を会場としてフェスタ東富士を6月ごろに開催する。	400
〔将〕須山浅間神社環境整備事業	世界遺産富士山の構成資産である須山浅間神社の訪問者増加に対応するため、駐車場、トイレ、休憩所、案内標識などを整備する。	44,731
〔将〕パノラマロード観光振興推進事業	美しい富士山の見えるパノラマロード遊花の里で、市民協働により季節の花を利用した花畑を整備し、観光イベントなどを開催する。	2,600

6. 健全な行政をみんなが実感できる市民と未来に開かれた「すその」

(単位：千円)

事務事業名	事業概要	事業費
〔新〕社会保障・税共通番号制度導入関連事業	社会保障・税に関する共通番号制度導入に対応するため、住民基本台帳システムや関連システム改修に向けた設計を実施する。	12,420
基幹業務システム管理事業	住民記録や税などの基幹業務システムを安定稼働させるシステムの維持管理と更新を行う。	104,628

※区分について 〔新〕新規事業、〔将〕将来投資枠事業

都市計画税(396,500千円)の使用状況

都市計画税は、総合的なまちづくりを行うため、街路整備など都市計画事業に要する費用の一部として活用されています。

■都市計画事業(現年度分) (単位：千円)

	事業費	構成比	財源内訳	
			特定財源	一般財源
裾野駅周辺整備費	700,839	34.8%	665,000	35,839
平松深良線街路費	157,495	7.8%	123,650	33,845
都市計画事業公債費	179,203	8.9%	0	179,203
下水道事業特別会計	976,247	48.5%	487,418	488,829
合計	2,013,784	100.0%	1,276,068	737,716

* 特定財源……国県支出金、地方債、負担金その他

平成26年度の一般会計予算を1カ月の家計簿に例えてみると

平成26年度一般会計予算を3,500分の1にして、年収が約56万2,800円(月収約46万6,900円)の家庭に置き換えてみると、次のようになります。

収入項目(一般会計の項目)	金額	支出項目(一般会計の項目)	金額
給料(市税)	235,200円	食費(人件費)	85,500円
雑収入(使用料など)	48,000円	医療費(扶助費)	63,300円
預金の取崩し(繰入金)	38,500円	光熱水費・通信費(物件費)	130,200円
親からの仕送り(国・県支出金など)	111,500円	家の増改築など(投資的経費)	87,500円
ローン借入れ(市債)	33,700円	子どもへの仕送り(特別会計への繰出金)	33,400円
		貯蓄(積立金など)	21,300円
		ローン返済(公債費)	45,700円
合計	466,900円	合計	466,900円